

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第1区分  
 【発行日】令和4年5月25日(2022.5.25)

【公開番号】特開2021-106129(P2021-106129A)  
 【公開日】令和3年7月26日(2021.7.26)  
 【年通号数】公開・登録公報2021-032  
 【出願番号】特願2019-237239(P2019-237239)  
 【国際特許分類】

H 0 1 R 13/115(2006.01)

10

H 0 1 R 13/11(2006.01)

【F I】

H 0 1 R 13/115 C

H 0 1 R 13/11 A

H 0 1 R 13/11 K

【手続補正書】

【提出日】令和4年5月17日(2022.5.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

20

【補正対象項目名】0073

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0073】

上述の長さL1の下限は、メス端子1の大きさにもよるが、例えば、1.0mm以上が挙げられる。上記長さL1は、1.5mm以上でもよい。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0076

【補正方法】変更

30

【補正の内容】

【0076】

ワイヤパレル部16及びインシュレーションパレル部17はいずれも、電線70が配置される基部と、電線70を包む一对の帯片とを備える。本例では、基部は、筒部15を構成する四つの周壁部のうち、第一の内面11を備える周壁部から延びる。一对の帯片は、基部の側縁から延びる。メス端子1が電線70を保持した状態では、向かい合う一对の帯片は、導体71、又は電気絶縁層72を包むように折り畳まれる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0079

【補正方法】変更

40

【補正の内容】

【0079】

純銅は、99.9質量%以上のCu(銅)を含み、残部が不可避不純物からなる。銅合金は、添加元素を含み、残部がCu及び不可避不純物からなる。添加元素は、例えばSn(スズ)、P(リン)、Zn(亜鉛)、Fe(鉄)、Ni(ニッケル)、Si(珪素)等が挙げられる。添加元素の合計含有量は例えば0.05質量%以上40質量%以下が挙げられる。具体的な銅合金として、SnとPとを含むリン青銅、Znを含む黄銅、Feを含む鉄入り銅等が挙げられる。

50